

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和2年度】

2021 年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構  
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 273-0048

所在地 千葉県船橋市丸山2丁目10番15号

評価機関名 NPO法人 ヒューマン・ネットワーク

認証評価機関番号

機構 06 - 163

電話番号 047-404-6300

代表者氏名 吉谷 健二

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①		経営	H0306095
	②		福祉	H1601031
	③		福祉	H1302015
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認定こども園			
評価対象事業所名称	学研こども園			
事業所連絡先	〒	141-8420		
	所在地	東京都品川区西五反田2-11-8学研ビルB1F		
	TEL	03-6431-1300		
事業所代表者氏名	園長 福島 礼子			
契約日	2020 年 7 月 1 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2020 年 8 月 3 日			
利用者調査結果報告日	2020 年 10 月 20 日			
自己評価の調査票配付日	2020 年 8 月 17 日			
自己評価結果報告日	2020 年 10 月 20 日			
訪問調査日	2020 年 10 月 27 日			
評価合議日	2020 年 10 月 28 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	事業書が大切にしている理念・方針・目標をどのように実現しているのか、組織運営とサービス実践の専門家がきめ細かく丁寧に確認し、公正・公平な評価報告書の作成に努めた。今年度はWithコロナ下での評価の進め方について書面やメール等の活用を図り面会による感染リスクの減少に努めた。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。  
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2021 年 月 日

事業者代表者氏名 代表取締役 山崎 知恵

印

1	<p><b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b></p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>【学研ココファングループ理念】 すべての人が心ゆたかに生きることを願い 今日感動・満足・安心と明日への夢・希望を提供します</p> <p>【保育方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの養護と教育を両輪とした、子ども主体の心と体の育ちの支援</li> <li>・子ども一人ひとりの認知・発達に応じた個別の発達支援</li> <li>・地域社会のすべての子育て家庭に対する、様々な取り組みによる育児支援</li> </ul> <p>【保育目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣が確立した子</li> <li>・心も体も自立した子</li> <li>・自律した行動がとれる子</li> <li>・他人に対する思いやりと寛容な気持ちを抱き、援助ができる子</li> </ul> <p>【ココファン・ナーサリーの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが本来持っている「育ちのチカラ」を伸ばします</li> <li>・子どもの主体的な活動を援助し、子どもの発達を促します</li> <li>・養護と教育の一体化を実践し、家庭と連携します</li> </ul>
2	<p><b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b></p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>①コミュニケーション能力の高い人材 ココファングループが提供するサービスは、個人が単独で提供するものでなく、チームで協力しながら提供していくものです。したがって、相手の考えに耳を傾け理解する姿勢と、自分の考えを相手により良く伝える工夫が必要です。</p> <p>②成功・達成させる信念をもっている人材 ココファングループでは、企業理念・ビジョンの実現に向けて、仕事の成功・達成を求めています。社員それぞれが成功・達成するためにはどうしたらよいのか？自分はどう行動すべきか、成功・達成するための信念を持ち、将来を予測しながら、柔軟な発想で仕事を進める人材を求めます。</p> <p>③責任感がある人材 ココファングループでは、すべての社員個々の職務・ステージに応じて「期待する役割」を設定しています。個々の役割を果たしていくことで個人のスキルアップ・キャリアアップが図られ、ひいてはグループ理念・ビジョンの達成につながるという考えに基づいた人事評価制度を取り入れています。自らの役割を理解し、強い「責任感」で仕事を完結できる人材には、経験・キャリアを問わず、様々なステージが用意されています。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>①子どもを好きでいてほしい 色々な感情をストレートに出してくる子どもの気持ちを、どんな時でも受け止められるような保育者であってほしい。</p> <p>②プロとしての使命感 プロとして、技術・知識が足りなければ、自ら勉強をして、自分の腕を磨き保育のプロになってほしい。</p> <p>③経験を積み上げる 子どもと過ごしていく日々が積み重なることで、様々な経験をつんでいくことになる。経験という大きな財産を積み上げていってほしい。</p> <p>④仲間を大切にする 何と言ってもチームワークが大切な仕事のキーポイントであり、チームワークが取れていないと、子どもをしっかりと育んでいけない。自ら、相手を思いやり、大切に作る姿勢が、逆に、相手もそうなっていってくれると思うので。</p> <p>⑤アンテナを張る 社会の動静や今、歌は何が流行っているかなど、保育には無関係に思えるかもしれないが、社会の中で子どもを育てていく私達は社会の動きを察知する必要がある。</p> <p>⑥感性を磨く 歌を聴く、絵を見る、楽器を弾く、色々な所へ出かけて、いろんなジャンルの人と話をするなど、感性を磨くことで心豊かになり、子どもも惹きつけられるので。</p>

調査対象

利用する全園児の保護者を調査対象とした。(兄弟・姉妹で利用している場合は一世帯一人とした)

調査方法

保護者に挨拶文とアンケートを配布して頂き、アンケートは匿名で直接評価機関に郵送して頂いた。

利用者総数  
利用者家族総数(世帯)  
共通評価項目による調査対象者数  
共通評価項目による調査の有効回答者数  
利用者家族総数に対する回答者割合(%)

利用者総数	47
利用者家族総数(世帯)	43
共通評価項目による調査対象者数	43
共通評価項目による調査の有効回答者数	23
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	53.5

## 利用者調査全体のコメント

総合満足回答は「大変満足」22%「満足」48%で満足以上の回答計が70%であった。項目別に90%以上の「ハイ」回答の項目は「時間変更は柔軟に対応してくれるか」「職員は子どもの気持ちを大切にしてくれるか」「保育内容の説明は分かり易いか」等3項目であった。80%以上の項目は「園での活動が心身の発達に役立っているか」「食事は配慮されているか」「園内は清潔か」等3項目であった。70%以上の項目は「活動は興味や関心を持てる内容か」「安全対策は十分か」「職員の言葉づかいは丁寧か」「プライバシーは守ってくれるか」等4項目であった。60%以上の項目は「在園時間に応じて工夫されているか」「職員と相談することが出来る信頼関係があるか」「怪我等職員の対応は信頼できるか」「子ども同士のいさかいの対応は適切か」等4項目であった。50%以下の項目は「戸外遊びは十分確保されているか」「行事日程は配慮があるか」「不満・要望はきちんと対応してくれるか」「第三者委員に相談出来る事を説明してくれたか」等4項目であった。

## 利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 運動や休息の配分は、子どもの発達の状態や在園時間に応じて工夫されているか	15	2	6	0
「はい」回答率は65%「どちらともいえない」回答率は9%「いいえ」回答率は26%であった。自由発言としては「基本的には十分受けられている」等であった。				
2. 園での活動は、子どもの教育や心身の発達に役立っているか	20	0	3	0
「はい」回答率は87%「いいえ」回答率は13%と高い評価であった。代表的な自由発言としては「子供の成長を自然な形でサポートしてくれる」等であった。				
3. 園での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	18	5	0	0
「はい」回答率は78%「どちらともいえない」回答率は22%であった。代表的な自由発言としては「製作など家では出来ない事を体験させて下さる」等であった。				

4. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	20	3	0	0
「はい」回答率は87%「どちらともいえない」回答率は13%と高い評価であった。代表的な自由発言としては「調理の工夫で、家では食べない葉物野菜などを残さず食べているようです」等であった。				
5. 園の生活の中で、身近な自然や社会と十分関わっているか	9	8	6	0
「はい」回答率は39%「どちらともいえない」回答率は35%「いいえ」回答率は26%であった。代表的な自由発言としては「コロナ対策のため公道などを歩く機会は失われています」等であった。				
6. 保育時間の変更が急きょ必要になった場合、開園時間内において、園の可能な限り、柔軟に対応されていると思うか	21	1	1	0
「はい」回答率は91%「どちらともいえない」回答率は4%「いいえ」回答率は4%で高い評価であった。代表的な自由発言としては「大変助かっています」等であった。				
7. 安全対策が十分取られていると思うか	17	5	1	0
「はい」回答率は74%「どちらともいえない」回答率は22%「いいえ」回答率は4%であった。				
8. 園の活動に保護者が参加しやすいよう、工夫されているか	11	6	2	4
「はい」回答率は48%「どちらともいえない」回答率は26%「いいえ」回答率は9%であった。代表的な自由発言としては「基本的には土曜で、1ヶ月前にお知らせがある」「今年はコロナ対策で実施されていない」等であった。				
9. 子どもの教育・保育について家庭と園に信頼関係があるか	14	8	1	0
「はい」回答率は61%「どちらともいえない」回答率は35%「いいえ」回答率は4%であった。代表的な自由発言としては「先生方とても親身的でありがたいと思っています」等であった。一方「もっと情報が欲しい」との要望が見られた。				
10. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	20	2	1	0
「はい」回答率は87%「どちらともいえない」回答率は9%「いいえ」回答率は4%であった。				
11. 職員の接遇・態度は適切か	16	5	2	0
「はい」回答率は70%「どちらともいえない」回答率22は%「いいえ」回答率は9%であった。				

12. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	15	3	1	4
「はい」回答率は65%「どちらともいえない」回答率は13%「いいえ」回答率は4%であった。				
13. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	10	4	2	7
非該当に回答された方を除くと「はい」回答率は63%「どちらともいえない」回答率は25%「いいえ」回答率は12%であった。				
14. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	21	1	1	0
「はい」回答率は91%「どちらともいえない」回答率は4%「いいえ」回答率は4%で高い評価であった。代表的な自由発言としては「一人ひとりをしっかり見てくれる」等であった。				
15. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	18	2	0	3
「はい」回答率は78%「どちらともいえない」回答率は9%であった。				
16. 教育・保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	14	8	0	1
「はい」回答率は61%「どちらともいえない」回答率は35%であった。代表的な自由発言としては「幼児保育サービスが必要十分に受けられている」等であった。一方で詳しい説明の要望が寄せられていた。				
17. 利用者の不満や要望は対応されているか	11	8	0	4
「はい」回答率は48%「どちらともいえない」回答率は35%であった。				
18. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	2	6	5	10
「はい」回答率は9%「どちらともいえない」回答率は26%「いいえ」回答率は22%であった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している <span style="float: right;">評点(〇〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えていく <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	カテゴリ1の講評	
	保育理念の理解を深めるために日々の対話に努めている 保育理念・目標・方針に対する職員の理解を深めるために、本社での入職時研修、各種研修で再確認し、園では期待役割面談や職員会議、日々の対話で理解が深まるように努めている。また、日々の保育の中で確認できるように事務所やトイレなどに掲示し、原点に戻って考える様に心がけている。一層保育理念を実践するために、保育所保育指針と園の保育理念からキーワード等を話し合う機会を設け、理念をさらに深く理解するように期待したい。	
	重点的な目標として子どもの主体性を育む保育に取り組んでいる 施設長の責務と業務がガイドラインに示されている。今年度重点的に取り組んでいることは①子ども一人ひとりの成長に合わせて主体性を育む保育に力を入れる ②そのために一斉保育だけではなく子ども一人ひとりの興味・関心に合わせて環境設定や関わり方を工夫する ③主体性を尊重する保育について会議や日々職員間で話し合う機会を作る ④園長やリーダーは現場で気づきや助言に努める ⑤半年に一度期待役割面接をして個別に目標や理念の実践を話し合いモチベーションの維持向上に努める等である。	
	園の運営に関する検討事項は各種会議で目的に沿って検討している 重要な案件の決定は本社に申告し、協議の上決定し、職員には会議や書面にて報告している。園の運営に関する検討事項は職員の意見を尊重し各種会議で情報共有し検討している。職員会議では各クラスの報告、給食担当の報告、行事、本部からの連絡事項、事故報告など共有する。幼児会議や0・1・2歳児会議では各クラスの子どもの情報共有や保育の流れ環境の見直しを行う。緊急時にはリーダーが集まり共有を行う場がある。給食会議では次月の献立の確認や喫食状況、離乳食やアレルギー児の進捗など確認している。	

2 カテゴリー2		
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評		
<p>保護者ニーズや職員ニーズを踏まえて戦略方針を検討している</p> <p>保護者のニーズは行事後のアンケート、運営委員会時の保護者意向、栄養士の食に関するアンケート、日々の会話、個人面接、懇談会等で把握している。主な要望は知育に力を入れて欲しいという発言が多い。職員ニーズは会議等日々の会話で把握し、主なニーズはスキルを高める研修、書類など事務作業の簡素化等である。地域ニーズはリフレッシュ・一時保育・子育て相談のニーズである。保護者のニーズ踏まえて、就学までに遊びの中で主体性や考える力、生きる力を育む保育方針を大切にしている。</p> <p>今年度は子どもの主体性を育む保育と職員の遣り甲斐のある職場づくりに努めている</p> <p>今年度の事業計画として重要課題の第一は子どもの主体性・育ちのチカラを育み一人ひとりの子どもに寄り添った保育をすること、第二は職員の対話型の会議や保育実践の振り返りの充実を図り職員主体の遣り甲斐のある職場づくり、第三は保護者への分かり易い情報提供である。3つの課題に対する中期の目標・今年度の目標の具体的な取り組み計画を明確にすることが望ましい。また、計画は全職員の参画のもとに設定し共有化することが望まれる。</p> <p>中期・単年度事業計画、指導計画、実践、自己評価サイクルの連動性向上を期待したい</p> <p>中期計画、事業計画に基づいて、全体的な計画、指導計画が展開され、保育理念の確認のもとに、保育を実践し、日々保育日誌で実践を振り返り、週・月・年間指導計画に反映している。保育者個人の自己評価は年2回自己チェックリスト・期待役割シートで成長の確認と目標を設定している。園の自己評価はほいく確認リストと保育所における自己評価で行っている。一連の保育の質の向上の各計画サイクルの連動性を高め、個別計画が細切れにならずに一貫性をもって運営されることが望ましい。</p>		

3 カテゴリー3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当



<b>評価項目2</b> 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		<b>評点(〇〇〇)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<b>カテゴリ3の講評</b>		
<p> <b>子どもの権利擁護など研修で学び園内でも読み合わせ徹底している</b>            保育理念・方針・目標、倫理綱領、服務規程(基本ルールや言葉づかいなど保育者の心得)、子どもの人権(保育所保育指針、憲法、児童福祉法、児童憲章、子どもの権利擁護条約など)、虐待防止、個人情報保護方針等運営ガイドラインに規定してある。ガイドラインは初任者研修、フォローアップ研修で全職員に周知し、また、園内研修にて読み合わせガイドライン浸透クイズを行い理解度を確認している。法・倫理の遵守に関してはコンプライアンスコードが配布され、年2回自己評価し、e-ラーニングを受講して徹底している。         </p> <p> <b>苦情解決制度をフローチャートで分かり易く提示している</b>            苦情解決制度を分かり易いフローチャートで玄関に掲示し、入園時に重要事項説明書をもとに説明し、玄関お知らせコーナーには意見箱を設置している。また、行事等後のアンケートや給食アンケートを行い、年2回の運営委員会での意見収集等により把握している。苦情が発生した場合は、苦情解決のフローチャートを元に、園長に報告をして必要に応じて第三者委員や本社に報告を行い、早期解決に努めている。送迎時や個人面談、連絡帳などにより寄せられた希望・要望は速やかに対応し個別面談にて報告している。         </p> <p> <b>ボランティア、実習生受け入れ、一時保育など地域に開かれた園に努めている</b>            園運営の透明性を高めるためにホームページでは保育理念はじめ基本情報や第三者評価受審報告書を掲載し透明化を図っている。また、ボランティア学生の受け入れ、劇団ボランティアの受け入れ、実習生の受け入れ、小・中・高・専門学校の実習など受け入れ地域貢献すると同時に運営の透明化に努めている。地域のニーズは区の会議等に出席し把握し、当園ではリフレッシュ・一時保育、子育て相談等で貢献している。また、小学校連携として給食体験、運動会見学、近隣園との交流会など行っているがさらに連携強化が望まれる。         </p>		
<b>カテゴリ4</b>		
<b>4</b>	<b>リスクマネジメント</b>	
<b>サブカテゴリ1(4-1)</b>		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		<b>サブカテゴリ毎の標準項目実施状況</b> <b>5/5</b>
<b>評価項目1</b> 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		<b>評点(〇〇〇〇〇)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ4の講評		
<p>「新しい生活様式に配慮した保育」に従って手洗い・消毒・マスク着用など徹底している</p> <p>本社からの新型コロナウイルス対策のガイドライン「新しい生活様式に配慮した保育」に従って、手洗い、消毒、マスクの徹底、フェースシールドの使用、検温、健康把握、保育現場での3密対策などを行い、子ども、保護者、職員、関係者全員の健康管理を徹底している。また、園内の消毒、玄関足ふきマットの次亜塩素酸水の塗布、玩具類の消毒、掃除・整理など感染対策の徹底を図っている。感染者が発生した場合や濃厚接触者が生じた場合も迅速に対応できるように備えている。</p> <p>毎月避難訓練を行い災害に備え、危険箇所チェックや情報共有で事故防止に努めている</p> <p>災害対策として避難確保計画、非常災害対策計画を作成し、研修も積極的に参加して、毎月避難訓練を行い、年1回は消防署の協力のもとに行い改善点等の助言をいただいている。大災害時に備えて法人として事業継承計画(BCP計画)を策定している。事故防止対策として、環境整備に力を入れ、置物整理など園内の整理整頓に努め、危険箇所のチェックを定期的に行い、事故報告書、ヒヤリハット報告書で発生の都度、対策を考え会議で報告し合い事故防止に努めている。</p> <p>職員は入社時に「守秘義務契約書」にサインし徹底している</p> <p>情報管理は運営ガイドラインに沿って、情報の収集、利用、保管、破棄等情報管理をしている。園児用ファイルや運営に必要な書類を整理しファイルを作成し、必要な時に活用できるように鍵の場所、保管方法を把握している。パソコンは情報漏洩の無いように、園長のみが使えるパソコンとスタッフが使えるパソコンを区別している。メールでの資料添付は廃止し資料はクラウドに保管し見られるようにしている。職員は入社時に「守秘義務契約書」にサインして守秘義務を徹底し、ボランティア・実習生も同様に徹底している。</p>		
カテゴリ5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	3/3
----------------	------------------	-----

評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ-5の講評

**新人は年4回の研修とコーチの現場指導により丁寧に育成している**  
 本社で大学との信頼関係を築き、保育士養成学校と連携し勤務しながら資格を取れるように援助している、そのうち1名は卒業後入職し、初任者研修を受け、企業理念、保育理念・方針・目標などココファンマインドを学び、その後年間で3回のフォローアップ研修があり(今年度はオンライン研修)成長プロセスに沿った内容で手厚な育成をしている。園では先輩職員がコーチになり、話しやすい・相談しやすい環境のもとで個人別育成を図っている。また、コーチにはコーチ研修があり、役割やコーチ技術を学び新人と共に成長している。

**現任職員が充実した研修体系と指導計画と実践振り返りで育成している**  
 キャリアパス体系は一般から上級まで職務・役割、能力・教育等の期待役割項目等が整理されている。職員は期待役割面接シート(全般)と自己評価チェックシートで自己評価し期待役割面談を通じて役割や目標を確認し個人別育成計画を設定している。研修は本社にて階層別研修、フォローアップ研修、専門研修等があり、また、外部研修などに積極的に参加し職員が主体的に学ぶ力を培っている。現場育成は園長・リーダーが助言し、指導計画の立案、保育実践、実践の振り返り、職員会議での情報の共有などで育成している。

**働きやすい職場づくりに努めている**  
 職員の主体性を尊重し話し合いやすい体制を心がけている。職員一人ひとりの得意分野を活かし役割を持ち成功体験を積んで自信とモチベーションを高める様に配慮している。職員会議や日常的に集まって話し合う時間を作り積極的に発言できる雰囲気づくりに努め、相談し易い体制で育成している。職場でのチームワークを大切に、お互いに助け合い「ありがとう」「助かった」と感謝し合い良い関係性を築いている。残業時間を毎月確認し、多い場合は減らすように努めて、有給休暇を取り易くし、毎月休みの希望を聞きシフト編成を配慮している。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

(職員の育成と働きやすい職場づくり)

職員は期待役割面接シート(全般)と自己評価チェックシートで自己評価し期待役割面談を通じて役割や目標を確認し個人別育成計画を設定している。研修は本社にて階層別研修、フォローアップ研修、専門研修等があり、また、外部研修などに積極的に参加し職員が主体的に学ぶ力を培っている。現場育成は園長・リーダーが助言し、指導計画の立案、保育実践、実践の振り返り、職員会議での情報の共有などで育成している。職員の主体性を尊重し話し合い体制を心がけている。職員一人ひとりの得意分野を活かし役割をもち成功体験を積んで自信とモチベーションを高める様に配慮している。職員会議や日常的に集まって話し合う時間を作り積極的に発言できる雰囲気づくりに努め、相談し易い体制で育成している。職場でのチームワークを大切に、お互いに助け合い「ありがとう」「助かった」と感謝し合い良い関係性を築いている。残業時間を毎月確認し、多い場合は減らすように努めて、有給休暇を取り易くし、毎月休みの希望を聞きシフト編成を配慮している。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</li> </ul>
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</li> <li><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</li> <li><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

取り組み成果を職員アンケートで確認すると「研修が増えた」「各会議でクラスの課題を話し合い共有することで協力体制が整った」「残業が少なくなった」「働きやすくなった」「休暇が取得し易くなった」「異年齢保育を行っている」など多くの取り組み成果発言が確認できる。同時に「チームワーク研修の実施」「人間関係の向上」「人材確保」等の課題発言も見られ、取り組み努力をさらに継続する必要があると思われる。今後一層、働きやすい職場づくりから魅力ある「幸せ」な職場づくりに発展するように望みたい。そのためには、職員の保育所保育指針と園保育理念をもとに「やりたい保育」の明確化と実践、職員一人ひとりの良さの再確認と自己肯定感の深まり、利他の精神による感謝し合う信頼関係の深まりが望まれ、そのための仕組みづくりを期待したい。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

(保育の質の向上)

保育理念・方針・目標を実践するために取り組みとして「子どもの主体的な活動を援助する」「育ちのチカラを伸ばす」と表明し、職員間で話し合い「一斉保育」だけでなく個別に一人ひとりの興味・関心に着目し、遊びから成長し学びに繋がるように努めている。子どもが自由に遊びを選択できるように、手作りおもちゃ、絵本、遊具、教材など遊びの選択肢を広げる環境を設定している。また、遊びに夢中になって「もっと」の声が出たときは遊びが継続できるように見守っている。好きな遊びの「ごっこ遊び」では対話を育む保育に努めている。行事では子どもが主体の行事を職員で話し合い、行事に向けた発表ではなく、日々の遊びや活動の中で子どもが興味・関心を持った楽しみや喜びの延長線で行う工夫をしている。子ども達に人気の曲「パプリカ」は準備体操に取り上げたり、楽しみなミニ旗はカラーガードに取り上げたり、子ども達の意味を尊重した取り組みをしている。また、結果でなく最後まで一緒に取り組む努力を大切に「かけ声を掛け合い」協力し合いやり遂げ、満足し達成感を味わえるように、努力を褒めながら挑戦するように援助している。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

取り組み成果を保護者アンケートで確認すると総合満足70%主な発言として「一人ひとりしっかり見てくれる」「子どもの成長を自然な形でサポートしてくれる」「職員はとてよくしてくれる」「感謝でいっぱいです」「子どもは楽しく過ごしている」「基本的な保育サービスは十分受けている」等の発言でみられる。園が目指している「子どもの主体的な活動を援助する」「育ちのチカラを伸ばす」方針をさらに高いレベルで達成するためには、日々の保育実践の振り返りを会議だけでなく日々の中で話し合う環境づくりが必要と思われる。そのため、日々の日誌記録に夢中になった遊びの夢中度・安心感、遊びからの体験・学び、環境設定と関わりの評価を日々話し合うことが期待される。また、「遊びと学び」に関する個別情報を保護者と職員が一層共有できる様に伝える努力が求められる。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目		
	サブカテゴリー1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の見学があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリー1の講評			
<p>ホームページやパンフレットで園の情報をわかりやすく提供している</p> <p>ホームページで保育理念、保育方針、保育目標、ココファン・ナーサリーの取り組みや一日の流れ、行事計画などを明記している。ココファン・ナーサリーが目指している「育ちのチカラ」を伸ばす保育に取り組む中で、園が大切にしている内容をエピソードや写真入りでわかりやすく紹介している。また「よくあるご質問コーナー」は、保護者の目線から捉えた不安や疑問に答える形式での掲載となっており園生活への理解に繋がるものとなっている。</p> <p>行政や関係機関に園の情報を提供し、地域ニーズの貢献に努めている</p> <p>パンフレットを区の保育課に配布し園の情報を提供することで、リフレッシュ保育を希望する利用者への選択肢となっている。保健所や児童相談所とも連携体制を整え相互が情報交換できることで、悩みを抱える子育て家庭や虐待の早期発見など地域ニーズの貢献に努めている。</p> <p>見学者に園の特徴を詳しく説明し、園生活の理解に繋げている</p> <p>園見学の問い合わせは多く、希望日は土曜日が多い。希望に応じることを基本とするが平日の見学も勧めている。見学対応は主に園長が対応し、園が大切にしている、一人ひとりの育ちに合わせた保育について説明しながら、子どもの姿や保育士のかかわりの実際の場面を見学してもらっている。保護者からは普段の保育の様子が確認できたことや、一人ひとりに対応している保育への感謝の声もあり見学内容について好評である。見学後はトイレトレーニングや箸の使い始め時期などの子育て相談にも応じている。</p>			

サブカテゴリ-2		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
<b>評価項目1</b> サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		<b>評点(〇〇〇)</b>	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当	
<b>評価項目2</b> サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		<b>評点(〇〇〇)</b>	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの指導・援助に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ-2の講評			
<p>保育の開始にあたり、基本的ルールや重要事項などを入園説明会で説明し同意を得ている</p> <p>入園説明会では園の取り組みとしている「育ちのチカラを伸ばす保育」「子どもの主体性の尊重」「養護と教育の一体化」などの説明、園生活の一日の流れ、年間行事計画、保健、安全、園の基本的ルールなどを重要事項説明書を基に園長が丁寧に説明し、保護者から文書で同意を得ている。重要事項説明書は配布し、その後内容に変更が生じた場合は、差し替えや保護者会で説明し了承を得ている。また、園内の親子文庫コーナーに閲覧用として掲示し、必要な時は自由に見ることができる。</p> <p>保育の開始にあたり必要な情報を記録化し、入園後の保育に活かしている</p> <p>入園前の食事、睡眠、排せつなど家庭での過ごし方、健康面、アレルギー、言葉、遊びなど園生活の基礎となる情報や保護者の意向を2月後半に開催する面談で確認し個人面談記録に記載している。面談内容によって栄養士や看護師が同席し、専門性を活かした聞き取りを行なっている。面談を実施した日の午後には、全職員参加の会議で面談記録を基に情報を共有しスムーズな園生活の開始に繋げている。記録は個別ファイルに保管し、担任は必要に応じて面談内容を確認し保育に活かしている。</p> <p>入園当初の子どもや保護者の不安な気持ちに寄り添い個別対応している</p> <p>園や家庭での様子を情報共有しながら保護者と相談の上、一人ひとりに応じた「慣れ保育」を行なっている。不安感が強かったり泣くことの多い子どもに対しては、特定の保育士が担当することで安心感に繋がるよう配慮している。「慣れ保育」は概ね一週間を目安とするが、子どもの様子や保護者の就労状況にも配慮し子どもと保護者に負担のないよう進めている。保護者にとっても生活の変化が生じていることを受け止め少しでも安心感に繋がるような声のかけ方に配慮し、寄り添っていくよう努めている。</p>			

サブカテゴリ-3

3 個別状況の記録と計画策定

サブカテゴリ毎の  
標準項目実施状況 13/13

評価項目1

定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

全体的な計画(教育課程を含む)や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画(教育課程を含む)を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの様子や子どもを取り巻く状況に即して、指導の過程についての反省や評価を行い、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な指導・援助内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、指導・援助を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが指導事例を持ち寄り、話し合う場を設けることで職員の専門性を高め、一人ひとりの幼児理解を共有化している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-3の講評

前年度の保育の振り返りを踏まえ、全職員で全体的な計画の見直しと作成をしている

全体的な計画に保育理念、保育方針、保育目標、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を掲げ、乳児、1歳以上3歳未満、3歳以上児に区分し発達過程を踏まえた養護と教育、食育のねらいと内容を明示している。また、異年齢交流や長時間保育、関係機関や地域との連携など園の特色を活かした取り組み内容をわかりやすく記載している。年度末に一年間の保育を振り返り、職員は気になる点や次年度に繋げたいことを一人ひとりが付箋に記入し、その後議題に取り上げ全職員で話し合い見直しや再編成をしている。

全体的な計画や子どもの様子を踏まえ、一貫性のある指導計画を作成している

指導計画は年間指導計画、月間指導計画、週案から構成され、ねらい、保育内容、環境構成、配慮事項を記載している。月間指導計画はクラス会議で話し合い、クラスの職員間が共有した上で週案に反映し日々の保育の実践に繋げている。計画の実践は柔軟的で子どもの姿や育ちの見通しを大切にしている。全体的な計画および各指導計画はファイルに綴じ、常に目を通し計画と実践が確認できるようになっている。保育の振り返りを期や月ごとに行ない、自己の評価だけではなく日々の保育の悩みを職員間で共有し助言しあうことで保育の質の向上に繋げている。

日々の振り返りを具体化し課題を明確にする記録化に期待する

日々の積み重ねが大切となる保育日誌の記録は子どもの姿や結果だけではなく、活動への導入、保育士の言葉かけや援助の方法、また環境構成は適切であったかなどを子どもの姿やエピソードを基に記録に反映し課題や改善点を明確にすることが大切である。時には数値で表わし可視化するなど、子どもが安心して夢中になって遊んでいたか、その遊びから何を学んだかがわかるような記録の工夫を望みたい。



サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した指導・援助を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の教育・保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した指導・援助を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ-5の講評			
<p><b>子どものプライバシー保護に徹底して取り組んでいる</b></p> <p>子どもに関する個人情報の取り扱いについては、入園時に重要事項説明書にて保護者に説明し同意を得ている。特に見学者や散歩時の写真や動画撮影に関しては十分に配慮している。園内の名簿や書類は鍵付き書庫で管理している。園の外壁は全面ガラス張りの為、半面はスモークシールを張り、更に子どもの着替えやトイレの際にはロールカーテンを下げて子どものプライバシー保護に努めている。夏の水遊びやプール遊びの際はテントの準備をしている。職員は運営ガイドラインやeラーニングで研修を徹底している。</p> <p><b>子どもの権利条約等の基礎研修を実施し、子どもを尊重する保育に努めている</b></p> <p>子どもの権利擁護について運営ガイドラインを用いて園内研修を実施し、子ども一人ひとりを尊重した保育に努めている。特に個々の子どもの生活リズムを守ることを大切に考え、食事、睡眠、早く目覚めた子の遊びスペースを分け、其々のリズムで落ち着いて過ごせるように環境を工夫している。子どもへのかかわり方や言葉がけは、一人ひとりの思いを受け止めていくことを職員間で共通理解し保育している。また、遠距離登園や保護者の勤務体制による登園時間のズレ、外国籍の方の生活習慣の違い等にも配慮し子どもが安心して過ごせるよう援助している。</p> <p><b>虐待防止や家庭支援に向け学び合い、こども園の機能を活かした支援に努めている</b></p> <p>職員は運営ガイドラインにより研修を実施し虐待防止に向けた取り組みをしている。保護者へは自治体からのポスター掲示やリーフレットを配布し啓発をおこなっている。日々の送迎時や連絡帳等を通して情報伝達を細目におこない、育児に心配を抱えている様子が伺える場合は早めに相談や面談に応じる体制をとっている。また園の行事には親子で一緒に楽しめる活動を取り入れ、感動を共有する体験を通して子育ての喜びを感じられるよう努めている。</p>			

サブカテゴリ-6

6	事業所業務の標準化	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ-6の講評			
運営ガイドラインを整備し基本的プロセスに沿った取り組みをしている 感染症・衛生管理、事故・怪我、危機管理、人権・虐待、個人情報保護、苦情対応、子育て支援、服務規程等、保育運営に関する基本的事項を運営ガイドラインに明記している。研修は職員の主体性を重んじ、各係が研修リーダーとなり事前準備を進め、保育に必要な基本的プロセスの習得に努めている。新人研修では、おむつ替えやおんぶの仕方、ミルクの作り方から始め、嘔吐処理の方法は園内に掲示し常時確認できるようにしている。嘔吐処理、心肺蘇生法等は実践的な研修を工夫し実施している。			
運営ガイドラインは会社や担当者で毎年見直し最新のものに更新している 運営ガイドラインは法改正や環境状況の変化に応じて会社や担当者が毎年見直し最新のものに更新している。担当係が研修リーダーの役を担うことで職員の声も反映できている。保護者からの意見は行事後にアンケートを取り、園だよりで報告し必要に応じて反映している。また、運営委員会で意見を頂き、改善できることは次に繋げ反映している。議事録はいつでも閲覧できるよう、お知らせコーナーに設置している。			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

		サブカテゴリ4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	35 / 35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた指導・援助を行っている		評点(○○○○○○)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで指導・援助している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の教育・保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう指導・援助している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、指導・援助している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目1の講評			
<p><b>子どもの発達状況の把握に努め、一人ひとりの主体性を尊重した保育を実践している</b></p> <p>子どもの心身の発達状況は発達チェック表で確認し経過を記録している。子どもの成長過程の中でその時にしかない成長の瞬間を逃さないよう、職員間で話し合い共有しながら一人ひとりの発達に応じた保育や遊びの環境づくりに努めている。歩行が確立した0歳児は1歳児と一緒に活動できる流動的な保育は、子どもの成長を促し満足感に繋がっている。遊具の設定は色、形、素材など各年齢の発達を考慮した内容で、子どもが自ら取り出して遊びが楽しめるような環境に努めている。職員の役割におもちゃ係を位置づけ環境の見直しに意欲的な姿があり期待される。</p> <p><b>子ども同士が互いを認め尊重しあう心が育つ保育に努めている</b></p> <p>職員は否定的な言葉を禁句とし、子どものできたことを認め褒める肯定的な言葉かけを共有している。また、保育室がオープンな配置となっている生活環境から、年齢や国籍に捉われず子ども同士の自然な関わりができています。職員の関わりや保育室の環境から、子どもたちは他者の存在やお互いの違いを認める心が育まれている。子ども同士のトラブルは危険のないよう見守る中で自分の思いを言葉で伝えられるよう援助し、トラブルを通じて他者の気持ちの理解と思いやりの心の育ちに繋げている。トラブルの状況は保護者に説明し理解が得られるよう努めている。</p> <p><b>小学校への円滑な接続に向けた取り組みに努めている</b></p> <p>近隣の小学校から2月頃に招待を受け、学校内の見学後、正月遊びなどで一年生と交流を深めている。遊んだ後の給食体験ではおかわりをして食べるほど楽しい体験となり、入学への不安を和らげ期待感に繋がっている。行事日が重なることもあるが、夏祭りや運動会などの行事に小学校職員を招待し、子どもの様子を見ていただくことで子ども理解に繋がる機会としている。保育所児童保育要録の送付に加え、直接意見交換の場を設け一人ひとりの子どもの育ちや支援が継続されるよう努めている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した教育・保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう指導・援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2の講評		
<p>登園時、子どもの心身の状況を丁寧に把握し職員間で共有している</p> <p>子どもが一日を安全で安心した状態で園生活が過ごせる様、受け入れ時は家庭での様子を丁寧に聞き取る他、連絡ノートからも把握している。視診チェックの結果と共に園児申し送り表に記入し、早番職員から担任に口頭と記録で伝達している。園児申し送り表には記入者、確認者、伝達者がそれぞれサインし伝達ミスの防止に努めている。園全体で把握すべき内容については昼礼で伝え全職員が共有を図り適切な対応に配慮している。</p> <p>家庭の協力を得て基本的な生活習慣が身につくような援助をしている</p> <p>「基本的な生活習慣が確立した子」を目標のひとつに掲げ、子どもの発達状況や保護者の意向を尊重し、園での子どもの姿を伝えながら無理なく自立に進めるように努めている。離乳食は月に一回以上栄養士が保護者と面談を行い家庭での様子を確認しながら進めることでスムーズに離乳の完了期を迎えることができている。手づかみ食べからスプーンや箸への段階的な移行や排せつについても一斉ではなく一人ひとりの子どものペースに合わせて進めることを大切にしている。</p> <p>降園時は園生活の様子を丁寧に伝えている</p> <p>園での様子を毎日写真に撮り降園時に見ていただきながら保育内容や子どもの様子を口頭で伝えている。当番の保育士は担任から引き継いだその日の子どもの姿に加え、当番の時間帯にみられた遊びの様子なども伝え丁寧に伝えている。現在、新型コロナウイルス対策として園内に入室できずテラス対応となり、保育の様子を十分伝えきれていないことを課題としている。今後は写真や文章だけでなくエピソードやコメントを加え保育内容の見える化に取り組むことを検討している。</p>		
3 評価項目3 日常の教育・保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう指導・援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3の講評		
<p>意欲的で表現豊かな子どもを目指す取り組みがある</p> <p>保育者は子どもの遊びや子ども同士のやりとりを見守る中で、子どもの年齢や発達、その場の状況に合わせて言葉を添えたり代弁し、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ対話的な学びやつながりが得られるようにしている。子どもの声や興味・関心に心を寄せることを大切にすることで、子どもたちは保育者や友達と心を通わせながら繰り返し遊びを楽しむことができている。自分の思いや考えを言葉で表現する力は、幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿の「言葉による伝え合い」「豊かな感性と表現の力」に繋がっている。</p> <p>戸外活動で季節の移り変わりを感じたり好奇心や探究心を育てている</p> <p>天気の良い日は近隣の公園に出かけ芝生で走ったり花や落ち葉、虫に触れ季節の移り変わりを感じることができる。子どもの「なぜ」「なに」に保育者も一緒に考えたり驚いたりすることを大切にしている。ピーマンの葉についてアブラムシの幼虫に興味を持ち図鑑で調べたり、蟻の好物を実験で観察するなど戸外活動を通して子どもの気づき、発見、感動の積み重ねが好奇心、探究心を育てている。区や警察と共に安全な散歩ルートの確認をし事故防止に努め、出かける際には目的地、ねらい、引率者、連絡体制などを記入した散歩届を園長に提出し許可を得ている。</p> <p>子どもの自主性、自発性を尊重し主体性を育む環境設定の工夫に取り組んでいる</p> <p>主活動以外の時間は子どもが自ら選んで遊べる環境づくりに努めている。発達段階に合わせた既成および手作りの遊具は混在しないよう柵でコーナーを設置している。遊びこめる時間と空間を配慮することで子どもたちは何日も連続して好きな遊びに集中したり、創造性を発揮し友達同士で工夫や協力する姿が見られている。保育者が仕掛けたアイスクリーム屋が導入となり、その後レストランごっこへと遊びが豊かに展開している。保育者は子どもが主体的に遊べるよう言葉かけや必要な用具、教材を準備し遊びの継続や発展を援助している。</p>		

4 評価項目4 日常の教育・保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4の講評		
<p>行事は日常の積み重ねを大切に主体的に取り組めるようにしている</p> <p>例年、行事に向けた発表ではなく日々の積み重ねの延長線に行事があることを保育者間で共有し、子どもへの関わりや環境づくりに取り組んでいる。子どもたちと何をやりたいか話す場を設け、「もっとやりたい」と楽しむ活動の積み重ねを大切にしている。昨年度の運動会で4歳児のバラバレーンの「パプリカ」は人気の曲であり、その後も楽しんでいる姿から今年度は準備体操曲に取りあげた。5歳児のカラガードは3歳児も興味を持ち、ミニ旗を用意すると真似て楽しむなど、子ども主体の行事は年齢問わず遊びを継続して楽しむことができています。</p> <p>協力しやりとげた達成感に繋がる保育に努めている</p> <p>できる、できないの結果ではなく最後まで取り組む中でそれぞれが満足感や達成感が得られるよう、保育者は一人ひとりのがんばる姿を褒め認める言葉かけや環境づくりを大切にしている。3歳以上児はゲームや競争などで負けた悔しさから泣いたり怒ったり諦める姿も見られるが、保育者は一人ひとりが持つ力や皆で協力することの大切さを年齢や発達に応じて伝えている。子どもの躓きや葛藤を保育者が受け止めることで、互いを認め応援したり一緒にやろうという気持ちが芽生え、協力することや達成感、次へ挑戦する意欲の高まりに繋がっている。</p> <p>コロナ禍での行事に工夫し保護者の子育て支援に繋がる場づくりに期待したい</p> <p>行事は入園時や年度当初のおたよりで知らせている。今年度は新型コロナウイルス対策のため、例年実施していた夏祭りを夏祭りごっことして子どもたちだけで楽しんだ。保護者参加の行事は年長児のみの運動会で、他年齢は運動会ごっことしてクラスごとで楽しんだ。年長児の保護者からは満足したという声が100%あった。園で子どもと一緒に過ごす機会は保護者にとって楽しみなひと時であると共に子どもの成長が確認できる場でもある。コロナ禍の中でもできる子育ての楽しみに繋がる取り組みに期待したい。</p>		
5 評価項目5 在園時間の異なる子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 在園時間の異なる子ども同士が楽しく遊べるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 在園時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 在園時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目5の講評		
<p>子どもの活動と休息のバランスやゆったりと安心して過ごせるよう配慮している</p> <p>保育時間が長い為、日中の体調や様子など、引継ぎ時は申し送り表の記載内容を十分に確認し、職員間で情報伝達をおこない子どもが安心して過ごせるようにしている。また、お迎えの際は子どもの様子を伝えながら保護者の不安解消に努めている。スポット利用の園児には水分補給や疲れて眠くなる子は横になり休息がとれるよう環境を整え、健康管理に配慮している。</p> <p>家庭的な雰囲気の中で子どもが好きな遊びを十分に楽しめる環境づくりに努めている</p> <p>今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、延長保育や土曜保育の利用児が少ない為、子どもが不安や寂しくならないように保育者は一人ひとりの子どもにゆったりと関わり、家庭的な雰囲気の中で好きな遊びを十分に楽しめるよう環境づくりに努めている。また、延長や土曜保育は2歳児の保育室を使い異年齢で過ごせるようにしている。異年齢のかかわりを通して、年下児が困っていると年上児が教える姿や年下児は年上児の遊びを模倣しチャレンジする姿も見られ、おもいやりの心や、自発性の育ちに繋がっている。</p>		

6 評価項目6 子どもが食事を楽しめるよう配慮している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園で提供する食事は、メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目6の講評		
<p>「学びたくなる食育」をテーマに栄養士の専門性を活かした食育を実施している</p> <p>栄養士は子どもが日本地図に興味を示している姿を捉え、日本の食文化を紹介し食への関心を深めていけるよう、毎月のお楽しみメニューで郷土料理の提供を計画的に実施している。料理の盛り付けには、その県の地形や特徴、生産物などを描いた手づくりの旗を飾り、子どもが興味をもち食事を楽しめるよう工夫している。さらに、乾物をもどして大きさを驚いたり、カツオと昆布のだしの違いを匂いや味で感じる体験なども検討し、栄養士の専門性を活かした様々な学びの取り組みにより、食への関心を高めている。</p> <p>食にかかわる体験を通し食への興味・関心を広げおいしく食べる工夫をしている</p> <p>野菜を育てたり、季節の野菜や果物に触れたりすることで食材への興味を持てるようにしている。実際に育てた野菜を収穫することで、苦手な野菜を食べてみよう挑戦したり、食べられたことへの満足感にも繋がっている。また、学研の絵本や図鑑を用いて食材について学ぶことで食への関心が高まっている。生産者や配達者など社会の様々な人が関わることにより、美味しい食事が得られることに感謝の気持ちを持ち、食べることに喜びを感じながら食事を楽しめるよう、言葉がけや雰囲気づくりをしている。</p> <p>子どもの体調やアレルギー、文化の違い等に応じた食事の提供に努めている</p> <p>入園時に個々の食事の状況を把握し、アレルギーのある場合は医師の指示の下で除去食を提供している。アレルギー食は給食マニュアルに沿って対応し、職員間で声を掛け合い確認を徹底しながら誤配膳や誤食のないよう留意している。保護者とは毎月献立表を基に面談し除去の確認をしながら給食の提供をしている。現在、エピペンの使用児はいないが、使い方の研修を緊急時に備えている。外国籍の園児には宗教食の提供に努めている。</p>		
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう指導・援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように指導・援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目7の講評		
<p>子どもの健康意識を高める工夫をし、病気やけがの予防・防止に取り組んでいる</p> <p>毎朝視診や保護者から口頭で子どもの健康状態を把握し、一人ひとりの心身の状態に沿った対応に努めている。日常の保育の中では手洗いうがい的重要性を子どもに分かりやすく伝え、手洗い場の前には絵表示をして指導し健康に過ごせるよう意識を高めている。また、新型コロナウイルス対策として検温、消毒を徹底し、子どもたちはソーシャルディスタンスについて紐やテープを用いて距離感覚を学び理解に繋げる工夫をしている。保育中の事故・怪我の対応はガイドラインにより研修や振り返りをし、ヒヤリハット内容を共有して事故防止に努めている。</p> <p>保護者や専門機関と連携し子どもの健康管理に努めている</p> <p>保護者とは登降園時に口頭や連絡帳を通し、子どもの心身の状態を共有し健康管理している。子どもの緊急入院時や検査入院の前後等は十分観察し体調の変化に応じて保護者や医療機関と連携し素早く対応できる体制を整えている。園の嘱託医による健康診断は年2回実施し健康状態の把握をしている。日常の健康に関する情報は毎月の保健だよりで伝えている。SIDS対策としては睡眠時の観察を常時おこないチェック表に状態を記録している。保護者には入園前面談の際、うつぶせ寝になりやすい子は家庭でも仰向けで眠れるよう伝えている。</p> <p>感染症対策を徹底し、予防や発生時の適格な対応に努めている</p> <p>運営ガイドラインにより研修を実施し、発生時には職員間で連携し素早い対応ができるよう訓練している。今後も研修を継続し、職員一人ひとりのスキルアップを望む。今年度は新型コロナウイルス感染症の対策として、登降園の際、園児の受け渡しはテラス前とし、検温と消毒後の入室や園外保育後の手洗いうがいの徹底に努めている。また、食事は時間差で食べ通常4人席を対角線状で2人席とし仕切り板も設置して防止対策に取り組んでいる。インフルエンザなどの感染症発生の際は保護者に素早く掲示して知らせ、保健だよりでも伝えていく。</p>		

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、生活形態や子育ての考え方の違いなど、個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の教育・保育の活動への参加を促している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目8の講評		
<p><b>子どもの日々の活動の様子を保護者に伝え成長の共有に努めている</b></p> <p>保育内容や子どもの成長の様子は連絡帳やクラス掲示板、送迎時の会話、園だより、クラスだより、給食だより等で伝えている。クラスだよりは毎年テーマを決め、今年度は「お気に入りの絵本」を紹介している。日々の活動の様子は分かりやすくお知らせできるように各クラスで写真入りで紹介して、降園の際に保護者に閲覧しながら伝達している。今年度は新型コロナウイルス感染症対策として保護者の立ち入りは園のテラスまでとしている為、保育内容の伝達方法はさらなる工夫と、特に「遊びと学び」を具体的に個人別に丁寧に伝える努力が求められる。</p> <p><b>保護者の就労状況を踏まえた支援に取り組んでいる</b></p> <p>保育時間の変更が急遽必要になった場合は可能な限り柔軟に対応し、保護者の就労状況に応じた支援をおこなっている。保護者アンケートでは「大変助かっている」というコメントもあり、園の取り組みに91%の肯定的回答があった。遠距離通園の方やコロナウイルス感染症対策で在宅勤務の方も増えている中、仕事時間に合わせた対応に考慮している。また、保護者の疲労や体調等にも配慮し家庭の状況に応じた支援に努めている。</p> <p><b>子どもと保護者が共に楽しみ感動を共有できる保育参加を期待したい</b></p> <p>例年全体の行事は、主に土曜日に設定し保護者が参加しやすい日程で計画している。クラス別の行事として保育参加、個人面談は平日におこなっている。日程の変更等は園だよりやお知らせ掲示を通して知らせている。今年度は新型コロナウイルス感染防止対策により、保護者参加は年長児の運動会のみであったこともあり、保護者アンケートの「園の活動に保護者が参加しやすいよう工夫されているか」の項目に対して「はい」回答が48%であった。感染防止対策を徹底したうえで環境づくりを工夫し、親子が共に楽しみ感動を共有できる保育参加を期待したい。</p>		
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目9の講評		
<p><b>地域の公園や施設等を活用し子どもが多様な体験ができるようにしている</b></p> <p>天候の良い日は近隣の公園に出かけ体をたくさん動かしたり様々な事象に触れ興味・関心を広げている。また、日野学園の運動会見学や毎年就学前には第三日野小学校に出かけ、小学生と触れ合い遊びを楽しみ交流を深めたり給食体験を通し就学への期待感を高めている。その他ナーサリーグループ園や地域の私立園とふれあいゲームやドッジボール大会をおこなう等多くの子どもたちと交流する機会を作り多様な体験ができるようにしている。</p> <p><b>園行事などを通し地域の方に呼びかけ地域との積極的な交流を期待したい</b></p> <p>音楽会や劇団の公演などの園行事には地域の方をお誘いしている。園見学は予約制としているが急な来園者も受け入れ、子育て相談にも応じている。特別支援に関する相談にはナーサリーグループ施設のクロッカを紹介している。今後に向け0.1歳児には絵本コーナーの開放や4.5歳児は園庭遊具の開放の他、職員の得意分野を活かし制作遊びや絵本の読み聞かせ等、地域との交流の場を広げていきたいと考えており、こども園の機能を活用した取り組みを期待したい。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	5-1-3	事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる
タイトル①	本社の階層別研修、専門研修と園内研修など多くの研修機会がある	
内容①	<p>新人は本社研修を年4回受講し、現場ではコーチ役が付いて悩まないように丁寧に育成している。現任職員はキャリアアップ体系の中で期待役割シートで自己評価して成長目標を定め研修計画を設定している。研修は本社の階層別研修、フォローアップ研修、専門研修があり、園内の研修も毎月計画されている。保育実践は職員会議など話し易い雰囲気の中で保育を振り返り、園長やリーダーが保育の範を示す中で話し育成している。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-6-1	手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている
タイトル②	運営ガイドラインが整備され業務が的確に遂行できるように取り組んでいる	
内容②	<p>運営ガイドラインを整備し、保育運営に関する基本的事項を明記して業務を的確に遂行できるよう取り組んでいる。また、運営ガイドライン研修を実施し、ガイドライン浸透度クイズ等で理解度の確認を行い周知・徹底を図っている。また、運営ガイドラインは会社や担当者で毎年見直し最新のものに更新している。各係が研修リーダーを務め事前準備をし、保育に必要な基本的プロセスの習得に努めている。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-2	子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した教育・保育を行っている
タイトル③	ひとり一人の生活リズムを尊重する環境づくりに取り組んでいる	
内容③	<p>食事や睡眠の要求、遊びを続けたいなどの子どもの思いに沿う保育の実践を職員の共通課題として、各家庭の生活リズムを受け入れ、一人ひとりの食事、睡眠のリズムを尊重した環境づくりに継続的に取り組んでいる。1、2歳児クラスの食事と午睡のスペースと時間の見直しから、遊びに満足した子は2歳児の部屋で食事し、午睡は1歳児の部屋に移動、午睡から早く目覚めた子は2歳児の部屋で遊べるよう環境の改善を図った。保育者が連携を図りそれぞれの場所に移動し子どもを見守る中で、子どもは情緒を安定させ安心して過ごしている。</p>	



No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもが自由に遊びを選択し、夢中になって遊び込むことから主体性や意欲、集中力など生きる力の土台となる学びを大切にしている
	内容	保育理念・方針・目標として「子どもの主体的な心と体の育ちを支援する」「子どもが本来もっている育ちのチカラを伸ばす」と表明し、保育者が設定する「一斉保育」だけでなく、子ども一人ひとりの意思を尊重し、自由に遊びを選択できるように、ままごと、手作りおもちゃ、手作り製作用具、お店屋台、ブロック、絵本、など様々な遊びの選択肢を広げ、自分で選択し、遊びに夢中になって「もっと」「もう一回」と遊び込めるように関わっている。遊びから主体性や意欲、集中力、対話など生き抜く力の土台となる学びを大切に保育を心がけている
2	タイトル	コロナ禍のなか行事を見直し、子ども達中心の行事となるように計画し、子ども達が協働してやり遂げる経験をもつ様に援助している
	内容	例年、子ども中心の行事を職員で話し合い、行事に向けた発表でなく、日々の遊びや活動の中で子どもが興味・関心を持った楽しみや喜びの延長線で行う工夫をしている。今年度の行事はコロナ禍のもとでさらに見直し取り組んでいる。子ども達に人気な曲「パプリカ」を準備体操に取り上げたり、楽しみなミニ旗はカラーガードに取り上げたり、子ども達の意思を尊重している。また、結果でなく最後まで一緒に取り組む努力を大切に「かけ声を掛け合い」協力し合いやり遂げ、満足達成感を味わえるように、努力を褒めながら挑戦するように援助している。
3	タイトル	「学びたくなる食育」をテーマに日本の食文化に触れる体験を通し、子どもが主体的に学びに向かう食育活動に取り組んでいる
	内容	栄養士は日常の子どもとの会話や遊びの姿から興味・関心を捉え、子どもが食を通して主体的に学びながら様々なことに興味を広げていけるように取り組んでいる。今年度は「不思議と学びたくなる食育」をテーマに毎月のお楽しみメニューで郷土料理を提供し、料理の盛り付けにはその県の地形や特徴、特産物等を描いた手づくりの旗を飾り、楽しみながら日本の食文化を学べるよう工夫している。沖縄県の郷土料理からは海やサンゴなどの自然にも興味が広がり栄養士に積極的に質問する姿が見られた。子どもの主体性を援助する環境づくりが学びに繋がっている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	指導計画や日誌記録の一層充実を図りたいと考え意見交換の場設けており、日誌による振り返りを一層有効にできる様に望みたい
	内容	日々の子どもの活動の様子や成長を日誌や個人記録に記入し、職員会議で各クラスの様子や子ども一人ひとりの状況を報告し合うことで、全職員で子どもの様子を共有し援助するようにしている。指導計画の作成や日誌記録の内容の一層充実を図りたいと考え、会議だけでなく日々の中で意見交換ができる環境づくりに努めている。そのため、日々の日誌記録の一層有効な活用が望まれる。子ども達の夢中になった遊び内容、夢中度・安心感の評価、遊びからの体験・学びの推察、環境設定と関わりの評価・反省を日々話し合うことが望まれる。
2	タイトル	働きやすい職場から、さらに魅力のある職場への発展を期待したい
	内容	職員は得意分野が発揮できるように、役割を分担し、成功体験を積み重ね、自信を増し、仕事の遣り甲斐を感じられるようにしている。職員会議では積極的に発言できる雰囲気づくりに努め、普段から話しやすい雰囲気会で話することを大切にしている。また、勤務時間の合理化、有給取得など長く続けられるように配慮している。今後さらに魅力のある職場に発展できるように、職員個人の夢や「やりたい保育」の実践、一人ひとりの長所の認め合いと自己肯定感の向上、努力を認め合い・感謝し合う関係性の強化など魅力のある職場への発展を期待したい。
3	タイトル	保育内容は連絡帳や園だより、口頭などで伝えているが、さらに、主体性を育む「遊びと学び」の取り組みを分かり易く伝える様に望みたい
	内容	日々の保育内容や子どもの成長の様子は連絡帳やクラス掲示板、送迎時の会話、園だより、クラスだより、給食だよりなどで伝えている。保護者アンケートの集計では「園での活動は心身の発達に役立っているか」「活動は興味や関心を持ってもらえるものか」等は約80%の方が肯定的な回答で高い評価である。一方「職員と話し相談できる」「保育内容の説明は分かり易い」は約60%の肯定的回答であったことを踏まえ、園が力を入れて取り組む子どもの主体性を育む保育の内容と「遊びと学び」を具体的に個人別に丁寧に伝える努力が求められる。